

令和6年度(2024年度)用

小学校国語科書写用

「新編 新しい書写」
年間指導計画作成資料
【4年】

令和6年(2024年)1月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい書写 四」(第4学年)年間指導計画

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
4	<p>●おかしな案内 ●書写の学び方 ○学習のじゅんびをし よう ・用具のじゅんび/用具 のかたづけ方 ・書きやすいしせい と、筆記具の持ち方 ・毛筆で書いてみよう 表紙裏～p.9</p> <p>◎ [知識及び技能] (3) エ(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○1年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を理解することができる。</p> <p>○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解することができる。</p> <p>○点画の種類を確認し、書き方に気をつけて書くことができる。</p>	2	<p>①1年間の学習の流れを見通す。</p> <p>②書写の学習の進め方を理解する。</p> <p>③毛筆の用具の置き方・扱い方・かたづけ方を確認する。</p> <p>④毛筆・硬筆の姿勢・持ち方を確認する。</p> <p>【姿勢・持ち方】</p> <p>⑤既習の点画の書き方について確認する。</p> <p>【点画の書き方】「横画」「縦画」「点」「折れ」「左払い」「右払い」「反り」「曲がり」</p> <p>⑥自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解している。</p> <p>○点画の種類と書き方を理解して書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○硬筆での姿勢や持ち方と比べながら、毛筆での姿勢や持ち方を見直している。</p> <p>【主】</p> <p>○1年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を知って、積極的に学習に取り組もうとしている。</p>
4 ・ 5	<p>○画の長さ と間かく (羊) p.10～11</p> <p>◎ [知識及び技能] (3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○画の長さの整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。</p> <p>○画の間隔の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。</p>	3	<p>①画の長さや間隔の整え方を見つめる。</p> <p>【字形】点画の長さ、点画の間隔</p> <p>②画の長さや間隔の整え方を確認する。</p> <p>③毛筆を使って、②の整え方を確認する。</p> <p>④毛筆の学習を生かして、画の長さや間隔の整え方を硬筆に広げる。</p> <p>⑤自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○画の長さの整え方を理解している。</p> <p>○画の長さを正しく整えて書いている。</p> <p>○画の間隔の整え方を理解している。</p> <p>○画の間隔を正しく整えて書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○画の長さや間隔の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の長さや間隔の整え方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
5 ・ 6	<p>○筆順と字形 (左右) p.12～13</p> <p>◎ [知識及び技能] (3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○筆順と画の長さの関係を理解し、正しく整えて書くことができる。</p>	4	<p>①筆順と画の長さの関係をみつける。</p> <p>【書くときの動き】筆順 【字形】点画の長さ</p> <p>②筆順と画の長さの関係を確認する。</p> <p>③毛筆を使って、②の関係を確認する。</p> <p>④毛筆の学習を生かして、筆順と画の長さの関係を硬筆に広げる。</p> <p>⑤自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○筆順と画の長さの関係を理解している。</p> <p>○筆順と画の長さの关系到注意して、正しく整えて書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○筆順と画の長さの関係を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順と画の長さの关系到気をつけて、進んで書こうとしている。</p>

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
6 ・ 7	○画の方向 (左はらい) (友) p.14~15 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆	○「左払い」が二つあるときの方向の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。	3	①「左払い」が二つあるときの方向の整え方を見つける。 【字形】点画の方向 ②「左払い」が二つあるときの方向の整え方を確認する。 ③毛筆を使って、②の整え方を確認する。 ④毛筆の学習を生かして、「左払い」が二つあるときの方向の整え方を硬筆に広げる。 ⑤自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○「左払い」が二つあるときの方向の整え方を理解している。 ○「左払い」が二つあるときの方向を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○「左払い」が二つあるときの方向の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「左払い」が二つあるときの方向の整え方に気をつけて、進んで書こうとしている。
9	○組み立て方 (左右の部分) (土地) p.16~17 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆	○左右の部分の組み立て方を理解し、正しく整えて書くことができる。	4	①左右の部分の組み立て方を見つける。 【字形】組み立て方 ②左右の部分の組み立て方を確認する。 ③毛筆を使って、②の組み立て方を確認する。 ④毛筆の学習を生かして、左右の部分の組み立て方を硬筆に広げる。 ⑤自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○左右の部分の組み立て方を理解している。 ○左右の部分の組み立て方を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○左右の部分の組み立て方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、左右の部分の組み立て方に気をつけて、進んで書こうとしている。
10	▼生活に広げよう ・ノートを書こう p.18 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】鉛筆 ★他教科との関連：国語	○簡条書きの書き方と既習の文字の整え方を理解し、ノートを書く場面で生かすことができる。	1	①簡条書きの書き方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、ノートを丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○読みやすい簡条書きの書き方を理解している。 ○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んでノートを書こうとしている。
	◇文字といっしょに ・手書き文字と活字 p.19	○手書き文字と活字の特徴を知ることができる。	—	①手書き文字と活字の特徴を知り、書写学習に興味をもつ。	【主】 ○手書き文字と活字に興味を持って、特徴を知ろうとしている。

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
10	○組み立て方 (上下の部分) 〈竹笛〉 p.20～21 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆	○上下の部分の組み立て方を理解し、正しく整えて書くことができる。	3	①上下の部分の組み立て方を見つける。 【字形】組み立て方 ②上下の部分の組み立て方を確認する。 ③毛筆を使って、②の組み立て方を確認する。 ④毛筆の学習を生かして、上下の部分の組み立て方を硬筆に広げる。 ⑤自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○上下の部分の組み立て方を理解している。 ○上下の部分の組み立て方を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○上下の部分の組み立て方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、上下の部分の組み立て方に気をつけて、進んで書こうとしている。
11	○いろいろな組み立て方 p.22～23 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア) 【用具】鉛筆	○いろいろな組み立て方を理解し、正しく整えて書くことができる。	1	①左右・上下の組み立て方(部分の幅や高さ)を見つける。 【字形】組み立て方 ②左右・上下の部分の組み立て方を確認する。 ③左右・上下の部分の組み立て方をほかの文字に広げる。 ④「たれ」「によう」「かまえ」の組み立て方を見つける。 【字形】組み立て方 ⑤「たれ」「によう」「かまえ」の組み立て方を確認する。 ⑥「たれ」「によう」「かまえ」の組み立て方をほかの文字に広げる。 ⑦自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○左右の部分、上下の部分、「たれ」「によう」「かまえ」の組み立て方を理解している。 ○左右の部分、上下の部分、「たれ」「によう」「かまえ」の組み立て方を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○左右の部分、上下の部分、「たれ」「によう」「かまえ」の組み立て方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、組み立て方に気をつけて、進んで書こうとしている。
11	▼生活に広げよう ・調べたことを伝える 新聞を作ろう p.24～25 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】フェルトペン・鉛筆ほか ★他教科との関連：社会、算数	○読みやすい新聞の書き方と既習の文字の整え方を理解し、新聞を書く場面で生かすことができる。	2	①新聞の書き方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、新聞を丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○読みやすい新聞の書き方を理解している。 ○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで新聞を書こうとしている。
11・12	◇文字といっしょに ・年賀状を書こう(小筆) p.26 ・書きぞめをしよう 〈平和〉〈春を待つ〉 p.27～29 p.49～52 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ)(ウ) 【用具】毛筆(小筆)	○小筆の持ち方や使い方、書くときの姿勢を理解し、既習事項に気をつけて、小筆で年賀状を丁寧に書くことができる。 ○既習の文字の整え方を理解し、既習事項を生かして、書き初めを丁寧に書くことができる。	3	①小筆の持ち方や使い方、書くときの姿勢を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項に気をつけて、小筆で新年の挨拶を丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。 ⑤既習事項を確認する。 ⑥既習事項に気をつけて、書き初めをする。 ⑦自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○小筆の持ち方や使い方、姿勢について理解している。 ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで年賀状や書き初めを書こうとしている。

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
1	○「折れ」(ひらがな) 〈わざ〉 p.30～31 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆	○平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	3	①平仮名の「折れ・折り返し」の書き方の原理・原則を見つける。 【点画の書き方】「折れ」(平仮名) ②平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を確認する。 ③毛筆を使って、②の書き方を確認する。 ④毛筆の学習を生かして、平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を硬筆に広げる。 ⑤自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を理解している。 ○平仮名の「折れ・折り返し」を正しく書いている。 【思・判・表】 ○平仮名の「折れ・折り返し」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、平仮名の「折れ・折り返し」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。
2	○行の中心と行間 p.32～33 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】鉛筆	○行の中心の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。 ○適切な行間を理解し、正しく整えて書くことができる。	1	①行の中心の整え方を見つける。 【配列】行の中心 ②行の中心の整え方を確認する。 ③行間の整え方を見つける。 【配列】行間 ④行の中心と行間の整え方を確認する。 ⑤行の中心と行間の整え方をほかの文に広げる。 ⑥自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○行の中心の整え方を理解している。 ○行の中心を正しく整えて書いている。 ○適切な行間をとって書くことを理解している。 ○行間を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○行の中心や行間の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、行の中心と行間に気をつけて、進んで書こうとしている。
	◇文字といっしょに ・書いて味わおう(百人一首) p.34 【用具】鉛筆 ★他教科との関連：国語	○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。	—	①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。	【知・技】 ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。
2	▼学びを生かそう ・四年生のまとめ 〈手話〉 p.35～37 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆 ★他教科との関連：国語	○自分のめあてを持ち、既習事項を生かして正しく整えて書くことができる。	3	①1年間の既習事項を振り返る。 ②既習事項の中から、自分のめあてを立てる。 ③自分の立てためあてに気をつけて、毛筆や硬筆で好きな言葉や文章を書く。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○既習事項を理解している。 ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○自分のめあてを持って学習に取り組む、その評価を今後にも生かそうとしている。

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
3	<p>▼学びを生かそう ・お礼の気持ちを手紙 で伝えよう p.38～39</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・フェルト ペンほか ★他教科との関連：国語</p>	<p>○読みやすい手紙の書き方と既習事項を理解し、手紙を書く場面で生かすことができる。</p>	2	<p>①手紙の書き方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、手紙を丁寧を書く。 ④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○読みやすい手紙の書き方を理解している。 ○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○今までの学習を生かして、進んで手紙を書こうとしている。</p>